

測定対象とする作業者の選定方法について

摘要	法的要件条件に適合		法的要件条件に不適合となるおそれのある測定例	法的要件条件から逸脱するパターン	
<p>作業状況</p>					
<p>測定対象者</p>	<p>全作業員の中から2名選定</p>		<p>選定なし</p>	<p>仮付けから1名選定</p> <p>本溶接から1名選定</p>	
<p>報告書発行</p>	<p>溶接作業1種類分</p>		<p>報告書なし</p>	<p>高いほうの値を全作業の評価値として採用した報告書</p>	
<p>マスク選定</p>	<p>溶接作業用のマスクとして選定</p>		<p>本溶接用のマスクを仮付け時にも使用</p>	<p>仮付け時も本溶接時も同じマスクを選定</p>	
<p>備考</p>	<p>作業の分担が無い場合は、全作業員が同程度のヒュームばく露量になると仮定し、全作業員から2名選定します。</p> <p>弊社が推奨する測定方法です</p>		<p>「仮付け」のほうが溶接ヒューム濃度が低いことが保証されないため、適切な測定・マスク選定と判断されない場合があります。</p>	<p>2021年2月24日時点の労基の見解では不適当とのことです</p> <p>「均等ばく露作業ごとに複数名以上選定して測定」という要件を満たしておりません</p>	